



道徳通信

第 1 号

令和4年 7月 1日 発行

発行人：群馬県立吉井高等学校
道徳教育推進委員会

水先案内人「ヤングドラゴン」に見守られて

4月8日（金）1学期始業式での挨拶において、校長先生より3年生に向けて、**最上級生としての自信と責任、「なりたい自分」を思い描く事、部活動や行事に3年間育んだ実力を存分に発揮してほしいとのメッセージ**がありました。また、2年生に向けて、自分自身を見つめ直し、問いかけ、将来を考え、早期から**進路の準備**をしてほしいこと、部活では**上級生として1年生の指南役、相談役**になってほしいとのメッセージがありました。また後半では、「ヤングドラゴン」についてお話をされていました。改めて紹介したいと思います。

■ 海図のなき未来を目指して船出する

今日は、総合学科である本校の象徴とも言うべき「ヤングドラゴン」について話をします。正門をくぐると左手に銀色に輝く全長2メートルほどのモニュメントがあります。何だと思いませんか。多くの生徒が不思議な存在として目にしていたのではないのでしょうか。このモニュメントの名称は「**ヤングドラゴン2000**」といいます。本校が、総合学科開設（2000年、平成12年度）の記念として、**彫刻家・住谷正己さんにより制作**されました。私も最初は何を意味しているのか不思議でした。コンセプトは「**海図のなき未来を目指して船出する若者達を導く水先案内人のシンボル**」、つまり、**地図のない未来を目指し生きる生徒の皆さんを安全に導くシンボル**だそうです。「ドラゴンは人間を超えるエネルギーを持った存在」という言い伝えもあります。右足を前に力強く踏み出す姿は、そのような印象を強く受けます。近くによると何か語りかけてくれるような、訴えてくれるような雰囲気を感じます。そして、**吉井高校の生徒一人ひとりの守り神**として叱咤激励し、応援してくれているように感じられます。校歌にも「世界の空にはばたかん」「未来を築く時ぞいま」「永久（とわ）の理想に栄えあれ」という言葉があります。ヤングドラゴンの願い、期待と関連しているような気がします。

先の見えない不透明な時代を生きることは、誰しも不安です。現に今、世界は混沌とした状態です。反面、これから自分を高められる、どのような出来事があるか、どんな人との出会いがあるか、どんな輝かしい未来が待っているか、前向きに考えると楽しみでもあります。

先日、すてきな言葉と出会いました。

「苦しい時は今幸せの種をまいていると思うがよい。その種はやがて芽を出す。たとえすぐ稔らなくても、私の人生これでよかった。そんな思いを残してくれる」という言葉です。

生徒の皆さん、吉井高校で、**高校生活という大海原へ高々と帆を上げ、船出し、力の限り邁進**してください。



「ヤングドラゴン2000」

皆さんにとって、充実した尊い一年になることを願い挨拶とします。（校長 小松 祐一）

■ この3ヶ月を振り返ろう

吉井高生ひとりひとりがもう一度この3ヶ月間を振り返り、自分自身を見つめ直すといいのではないかと思います。様々な出来事があり、何かに気づき、行動も変わっていくこともあるかもしれません。次の3ヶ月をどう過ごすのかを改めて考えてみましょう。

「めあて」をもって取り組もう

■ 行事予定

- 7月6日(水) こころの教育事業「自己理解・他者理解」
(3年次)
→**個性の伸長、自他の尊重**
- 7月6日(木) 地域企業の抱える課題を解決する授業
フィールドワーク(2年次)
→**地域との関わり、社会参画**
- 7月7日(木) 働く大人の「覚悟を決めた仕事」の話
(1年次)
→**勤労の意義**

吉井高校の道徳教育の重点目標

- ・地域社会の一員としての自覚と公共心を涵養しつつ、地域社会の発展に努める態度を育成する
- ・集団や社会の一員としてよりよい人間関係を構築しようとする態度を育成する